

放課後まなび教室 スタッフ研修会を開催！

188名のスタッフが参加

6月9日、京都市総合教育センターにおいて、山科醍醐こどものひろばの村井理事長を講師にお招きし、「子どもをひとりぼっちにさせない地域に向けてー放課後まなび教室の可能性」というテーマでスタッフ研修会を開催しました。

当日は188名のスタッフが参加され、村井理事長の話に時にはうなずき、時には驚きながら、耳を傾けておられました。



▲ 事例を交えながら講演される村井理事長

▼ 熱心に耳を傾ける参加者

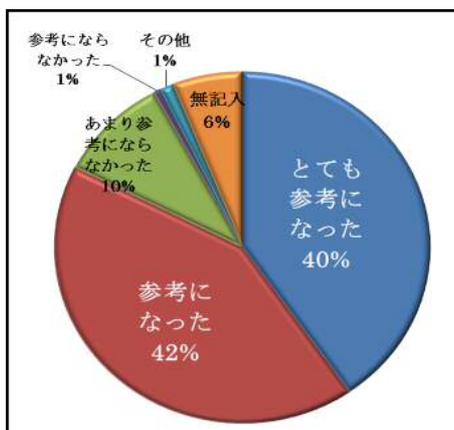


「まなび教室は子どもが“ホッ”とできる場」

講演では、子どもを取り巻く環境が日々変化している中で、私たち大人は常識や価値観だけで子どもを見るのではなく、目の前にいる一人一人の子どもに向き合うことが大切であり、子どもと向き合い、寄り添うことで、「放課後まなび教室は子どもが“ホッ”とできる場となり、子どもたちは安心してまなびに来てくれるようになる」という話がありました。さらに、放課後まなび教室は子どもたちが地域の人や物と「出会う・知る・つながる」良い機会であり、「皆さんにスタッフとして参加していただいているのはとても大きな意味がある」という話も伺うことができました。

アンケート

今回の研修はいかがでしたか？



参加者の声

- ・子どもを一人ぼっちにさせないために、まなび教室という場所があることをお知らせしないといけないと思った。
- ・まなび教室の在り方の原点を改めて学ぶことができたように思う。学ぶことも大切だが、安心してもらえる場所であって欲しいと感じた。「実践事例集」も役立ちそう。
- ・地域の人間だからできること、地域の人間として参加する意義を考えながら、子どもたちに関わっていきたい。
- ・学校ともっと密な関係で話ができるようになればと思う。

編集後記

まなび教室が子どもたちにとって安心できる場所であることの大切さを改めて実感した研修会でした。今後も皆様と共に、子どもたちに「安心・安全な居場所」を提供していきます。

発行 京都市子ども若者はぐみ局 子ども若者未来部 育成推進課 放課後まなび教室担当
〒604-8171 中京区烏丸通御池下る虎屋町 566-1 井門明治安田生命ビル 2 階

☎ 075-746-7610 FAX 075-254-5020

